

令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	5
事業名	戸籍住民基本台帳経費	会計 一般	款 2	項 3	目 1
政 策	4 持続可能な町の経営ができるために	課名	町民課		
施 策	4-2 行政機能の確保・管理	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	戸籍、住民基本台帳、印鑑登録業務等を法令のとおり正しく事務遂行する。
事業内容	戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、個人番号カード、中長期在留者、特別在留者関係に関する事務。 コンビニ交付サービス…平成29年1月から「個人番号カード（マイナンバーカード）」を取得した住民がコンビニエンスストア等で各種証明書を取得できるようになった。 個人番号カードの申請補助や申請時来庁方式も開始し、より一層の個人番号カード普及を目指す。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	マイナンバーカード取得率	69.83	81.30	91.11	%	↑	100
	2							
	3							
	4							
	5							
				令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）
全体事業費（千円）				28,314		48,382		31,317
財源 内訳	うち一般財源			7,284		22,363		16,382

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	書かない窓口やマイナポータルを利用した住所異動手続きなど、窓口のDX化を図っていく。	③取組の課題	マイナンバーカードの再発行、更新が増加してきており、来庁者の増加が著しく、窓口が混雑している。
②R6年度に実施した取り組み	総合窓口を開設し、新しい体制で業務を開始した。また、窓口に「書かない窓口」を導入し住民の負担軽減を図った。	④今後の改善計画	マイナンバーカード専用の端末を増やすとともに、会計年度任用職員を採用し、窓口の混雑状況を緩和させる。また、笹尾連絡所、東員郵便局でもマイナンバーカードの更新が行えるようにし、住民の利便性向上と窓口混雑を軽減する。